



学校行事の意義・もつ力

校長 海老沼 寛之

「学生服を着て下駄を履き、声がかかるまで力一杯赤組を応援団長として引っ張った運動会」
「教科書で見ていたものの、生で見て鎌倉の大仏の迫力と鶴岡八幡宮の荘厳さに驚いた修学旅行」
「まぬけ村物語で庄屋を演じ、台詞の多さに何度も家で練習して本番で自信をもってできた学芸会」
「地域ごとの代表選手でたすきをつなぎ、チームのために一秒でも早くたすきを渡そうとした駅伝大会」
「宿舎のカレーがおいしくて、友達と初めて泊まった大平少年自然の家の宿泊学習」

私が、小学校のときに楽しかった思い出を振り返ると、自然と学校行事の数々が思い出されます。

現在の小学校では、国語・社会・算数・理科・生活・音楽・図画工作・家庭・体育・外国語・特別の教科道徳・外国語活動・総合的な学習の時間・学級活動といわゆる授業の時間が一番多く長く、どれも大切な学習です。しかし、それだけではありません。学校生活を更に楽しくし、いろいろなことを学べる**学校行事**があります。私が小学校のときのように、ぜひ子供たちには学校行事を思い切り楽しんでほしいですし、計画・準備・練習・本番を通して、たくさんのことを学んでほしいと思っています。

4月に打ち出した学校経営方針：子供が「明日も学校に行きたい」と思える学校の第2の柱に、

「学校行事のもつ教育的効果はとても大きい。あきらめない心、目標に向かって努力する姿勢、団結力、創造性、達成感などを育てられる。練習や準備から本番まで、様々なことを培う」を位置付けている所以です。

さて、その学校行事には実は大きく分けて以下の五つの種類があります。

(1) 儀式的行事	学校生活に有意義な変化や折り返しを付け、厳粛で清らかな気分を味わい、新しい生活の展開への動機付けになるようにすること	入学式、卒業式、始業式、終業式、修了式、対面式、朝会等
(2) 文化的行事	平素の学習活動の成果を発表し、自己の向上の意欲を一層高めたり、文化や芸術に親しんだりすること	開一まつり、こころの劇場(6年)、開一アートの森(展覧会)等
(3) 健康安全・ 体育的行事	心身の健全な発達や健康の保持増進、事件や事故、災害等から身を守る安全な行動や規律ある集団行動の体得、運動に親しむ態度の育成、責任感や連帯感の涵養、体力の向上などに資するようにすること	健康診断、避難訓練、交通安全教室、運動会等
(4) 遠足・ 集団宿泊的行事	自然の中での集団宿泊活動などの平素と異なる生活環境にあつて、見聞を広め、自然や文化などに親しむとともに、よりよい人間関係を築くなどの集団生活の在り方や公衆道徳などについての体験を積むことができるようにすること	移動教室(5・6年)、 社会科見学等
(5) 勤労生産・ 奉仕的行事	勤労の貴さや生産の喜びを体得するとともに、ボランティア活動などの社会奉仕の精神を養う体験が得られるようにすること	飼育栽培活動、校内美化活動等

学校行事の究極の目標は、「**全校または学年の児童で協力し、よりよい学校生活を築くための体験的な活動を通して、集団への所属感や連帯感を深め、公共の精神を養いながら、人間関係形成、社会参画、自己実現等**」を目指すこととされています。先日の**開一まつり**は、本当に素晴らしい取組でした。1年生から6年生までが、ペアの学年の発達の段階も考え(1年・3年、2年・5年、4年・6年がペア)、企画構想、話し合い、準備、当日の運営を行いました。どのお店に行っても、時間をかけて準備をした足跡が残っており、お客さんで来た子供たちにも、お店を運営している子供たちにも笑顔がたくさんありました。自分たちが頑張って作り上げたお店で、あんなに喜んでくれる顔を見ると、「**やってよかった。**」、「**工夫したかいがあった。**」という**達成感**、それだけでなく「**もう少し改善できる部分もあったかもしれない**」と更なる**レベルアップ**を考えていた子供たちもいるはずです。異年齢集団で関わることができるのも学校行事の大きな魅力です。同じクラス・同じ学年の子たちだけでなく、異年齢集団の子供と関わり、知り、仲良くなると、さらに開一小が活気ある学校になると信じています。

特に2学期は、6・5年生の移動教室(9月軽井沢、12月岩井)、運動会、開一アートの森と大きな行事が目白押しです。「**明日も学校に行きたい。**」なぜなら「**学校行事が楽しみだから。**」そういう子供たちが一人でも二人でも増えるような学校行事を今後もつくり上げていきます。

7月の行事予定



日	月	火	水	木	金	土
	7/1 全校朝会 委員会活動	2 安全指導	3	4 避難訓練 3年起震車訓練 6年中学校訪問	5 たてわり班活動 短縮前半開始 1～3年 4時間授業 4～6年 5時間授業	6
7	8 児童集会 1～3年 4時間授業 4～6年 5時間目 クラブ活動	9 1～2年 4時間授業 3～6年 5時間授業	10 全学年4時間授業	11 1～2年 4時間授業 3～6年 5時間授業	12 朝遊び 短縮後半開始 全学年4時間授業 6年連合水泳記録会 2年校外学習(図書館)	13
14	15 海の日	16 全学年4時間授業 6年連合水泳記録会予備日	17 全学年4時間授業 6年移動教室説明会	18 全学年4時間授業 給食終	19 終業式 全学年3時間授業	20
21	22 夏季休業日始	23 高・中学年 夏プール	24 低学年 夏プール	25 高・中学年 夏プール	26 低学年 夏プール	27
28	29 高・中学年 夏プール	30 低学年 夏プール	31	8月・9月		24 仲五町会 盆踊り (23日(金)～)
25	8/26 高学年 図書室読書機会 8:30～10:25	27 中学年 図書室読書機会 8:30～10:25	28 低学年 図書室読書機会 8:30～10:25	29	30	31 夏季休業日終
1	9/2 始業式 全学年3時間授業	3 安全指導 全学年4時間授業 給食始 身体計測6年	4 避難訓練 身体計測5年 1・2年 水曜5時間授業始	5 身体計測4年	6 朝遊び 身体計測3年	7

生活目標 《身のまわりをきちんとしよう》

生活指導部

学校生活には、多くの学習道具が必要です。子どもたちは、毎日忘れ物がないよう、準備しています。通常の準備に加えて、季節や時期にあった準備も必要で、例えば今なら、水泳指導の準備があります。それは、水着やカードなどの学習道具だけではなく、体調を整えることや爪を切ることも準備の一つです。

この身のまわりことを、子どもたちが苦にせず続けられるには、何が大切でしょうか。その一つに、「習慣化」があると思います。毎日の歯磨きも、習慣になってしまえば、忘れることも、面倒に感じることもありません。「当たり前のように繰り返すこと」にできるように、学校や家庭で支援をしていきましょう。

夏休み読書機会

今年度、2学期始めに向けての生活リズムの取戻しや読書に親しむことを目指して、「図書室読書機会」を行います。マザーグースの読み聞かせも予定していますので、ぜひ参加してください。終了後、参加児童で一斉下校し、登下校は交通擁護員が見守ります。

- 5・6年生 8月26日(月) 8:30～10:25
- 3・4年生 8月27日(火) 8:30～10:25
- 1・2年生 8月28日(水) 8:30～10:25